

1998年11月吉日

保健予防担当 保健婦(士)殿

地域における糖尿病対策に関する調査のご協力依頼

厚生省調査研究班 班長：岸本拓治

拝 啓

秋冷の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、厚生省科学研究費助成金による「地域における糖尿病対策の新たな保健・医療・福祉システム構築に関する調査研究事業」を実施することとなりました。つきましては、アンケート調査へのご協力をお願い申し上げます。

近年、超高齢化社会を迎えようとしている我が国において、生活習慣病としての糖尿病の増加が大きな問題となっています。そこで、今回の調査は全国の市町村において行政機関、医療機関、患者組織などがどのような連携システムの中で糖尿病対策を実施しているのか現状を把握し、地域特性を踏まえた新たな保健・医療・福祉システムの構築方法について検討することを目的としています。なお、ご回答はあくまで統計的に処理させていただきますので、皆様のお名前や機関名が同定されることはございません。また、ご回答を本調査の目的以外に使用することもございません。

ご回答頂きました方々には、報告書の速報をお送りします。

以上の主旨を十分にご理解頂き、お手数をお掛けしますがご協力の程お願い申し上げます。

敬 具

- ・返送期限：1998年12月10日（消印有効）
- ・なお、糖尿病対策に関する関連資料がありましたら送って頂けると喜びます。
- ・返送先／調査に関するお問い合わせ：〒683-8503 鳥取県米子市西町86

鳥取大学医学部衛生学教室 教授：岸本拓治

Fax：0859-34-8138

Tel：0859-34-8024

<アンケート目次>

糖尿病の実態と原因について……………P3

糖尿病の管理体制について

- ・スクリーニング体制について……………P4
- ・患者登録システムについて……………P4
- ・フォローアップ体制について……………P4

糖尿病の予防と啓発に関する体制について……………P5

糖尿病対策に関わる人材の充足状況について……………P6

諸機関との連携について……………P6

職域・学校保健との連携について……………P7

糖尿病対策の将来構想について……………P7

ご記入にあたってのお願い

- ・ご回答はすべて、貴市町村における糖尿病対策の現状についてお答え下さい。
- ・該当する項目の番号に○、あるいは（__）内に数値・文字をご記入下さい。

・貴市町村名をご記入下さい。

() 都・道・府・県 () 区・市・町・村

・ご回答頂いた方の氏名 ()

・所属部課名 ()

・保健婦(士)数 常勤 () 人 嘱託 () 人

・栄養士数 常勤 () 人 嘱託 () 人

・診療所数 () ケ所 病院数 () ケ所

・貴市町村内に糖尿病専門医がいますか? いる ・ いない

[貴市町村の糖尿病の実態と原因について]

(1) 近年、貴市町村において糖尿病は増加したと思われませんか?(要指導・未治療・治療中等を含む)

1. 増加した 2. 変わらない 3. 減少した 4. わからない

(2) 近年、糖尿病の合併症(網膜症、腎症、神経症)患者は増加したと思われませんか?

1. 増加した 2. 変わらない 3. 減少した 4. わからない

(3) 昨年度(平成9年度)の老人保健法による基本健診の結果について、ご記入下さい。

1. 受診者数 () 人

2. 受診率 () %

3. 糖尿病に関する検査結果の異常者率(要指導・未治療・治療中等を含む)
() %

(4) 貴市町村における糖尿病の最大の原因は何と思われませんか?

(あえて一つ選ぶとすれば、どれでしょうか?)

1. 食生活 2. 運動不足 3. 肥満
4. ストレス 5. 遺伝要因 6. その他()

(5) 糖尿病対策を保健活動の重点項目にあげていますか?

1. 重点項目にあげている
2. 重点項目にあげていない
3. 将来、重点項目にあげる予定である

[糖尿病の管理体制について]

スクリーニング体制について

(6-1) 糖尿病のスクリーニングをどのような方法で実施していますか？

1. 老人保健法による基本健康診査
2. 人間ドック
3. 独自の糖尿病健診
4. その他()

(6-2) 糖尿病のスクリーニングのために次の検査項目のうち、受診者全員に実施している項目はどれですか？(複数回答可)

1. 検尿
2. 血糖値(随時・空腹時ともに)
3. ヘモグロビンA1c
4. 経口糖負荷試験
5. 眼底検査
6. その他()

患者登録システムについて

(7) 糖尿病患者管理のため、どのように登録システム(台帳管理・電算管理等)を用いていますか？

1. 登録システムなし
2. 登録システムあり : 1) 患者を把握するために活用
(複数回答可) 2) 事後指導(個別・集団指導)のために活用
3) 健診の継続管理のために活用
4) 医療機関との連携のために活用
5) 糖尿病対策評価のために活用
6) その他()

フォローアップ体制について

(8) 糖尿病および糖尿病境界型(予備群)の住民に対する事後管理のためにどのようなことをしていますか？(複数回答可)

1. 家庭訪問指導
2. 集会所等での個別指導
3. 講演会等による個別・集団指導
4. 糖尿病教室による個別・集団指導
5. 体験学習(運動、食事療法)による個別・集団指導
6. 健康まつり等のイベントによる集団指導
7. その他()
8. 特になし

(9) 糖尿病対策のために、医療機関との連携がありますか？

(複数回答可)

1. 開業医を含む第一線医療機関との連携
2. 糖尿病専門医療機関との連携
3. 眼科との連携
4. 産婦人科との連携
5. 皮膚科との連携
6. その他()
7. 特になし

(10) 昨年度(平成9年度)に糖尿病のための重点健康相談・重点健康教育等の回数は何回されましたか？

1. 重点健康相談 ()回、延()人
2. 重点健康教育 ()回、延()人
3. 生活習慣改善指導 ()回、延()人

[糖尿病の予防と啓発に関する体制について]

(11) 糖尿病予防のために、どのような一次予防を行っていますか？

1. 一次予防を実施していない
2. 一次予防を実施している : 1) 一次予防全般に関する講演会
(複数回答可) 2) 運動・食事に関する学習会(教室)
3) 肥満予防に関する学習会(教室)
4) 運動・食事に関する体験学習
5) 健康まつり等のイベント
6) その他()

(12) 糖尿病対策に関する患者の会・自助グループ・地区組織等がありますか？(複数回答可)

1. 患者の会・自助グループがある
2. 糖尿病対策に関与する地区組織がある
3. 糖尿病対策協議会のような糖尿病対策を中心とした組織がある
4. その他()
5. 特になし

[糖尿病対策に関わる人材の充足状況について]

(13) 糖尿病対策に関わっている職種(嘱託・雇上げも含む)を以下の中から選んで下さい。(複数回答可)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 保健婦(士) | 2. 看護婦(士) |
| 3. 栄養士 | 4. 検査技師 |
| 5. 医師 | 6. 糖尿病療養指導士 |
| 7. 健康運動指導士 | 8. その他() |

(14) 糖尿病に関わる専門スタッフが十分に揃っていますか？

1. 十分
2. 不十分 : 1) 保健婦(士) 2) 看護婦(士)
(複数回答可) 3) 栄養士 4) 検査技師
5) 医師 6) 糖尿病療養指導士
7) 健康運動指導士 8) その他()

[諸機関との連携について]

*但し、(15) の設問は特別区・政令市・指定都市等、都道府県と関連のない市町村の方はご回答の必要はありません。

(15) 都道府県・保健所による糖尿病対策に関する指導・支援はありますか？また、それは十分だと思われませんか？

- | | | |
|-------------------|---------|----------|
| 1. 患者教育 | (あり・なし) | (十分・不十分) |
| 2. 専門スタッフの研修 | (あり・なし) | (十分・不十分) |
| 3. ケースカンファレンス開催 | (あり・なし) | (十分・不十分) |
| 4. 職域における啓発普及 | (あり・なし) | (十分・不十分) |
| 5. 医療機関とのネットワーク作り | (あり・なし) | (十分・不十分) |
| 6. 情報の提供 | (あり・なし) | (十分・不十分) |
| 7. 情報の活用方法(評価方法等) | (あり・なし) | (十分・不十分) |
| 8. マンパワーの支援 | (あり・なし) | (十分・不十分) |
| 9. その他() | | |

(16) あなたの市町村は、医療機関と連携がとれていますか？

1. よくとれている 2. まあまあとれている 3. とれていない
4. その他()

(17) (16)の質問で、「3.とれていない」とお答えした方にお聞きします。
不十分な点や内容についてご記入下さい。

()

(18) 重症の糖尿病合併症(失明・腎透析・壊疽)に対する支援等について、
福祉関連での市町村独自の施策(手当、福祉医療、介護サービス等)があり
ますか？

1. なし 2. あり(内容:)

[職域・学校保健との連携について]

(19) 糖尿病対策に対して職域の産業医・産業保健婦(士)との連携(連絡会・
検討会等)がありますか？

1. なし 2. あり

(20) 糖尿病対策に対して学校保健分野の学校医・養護教諭等との連携(連
絡会・検討会等)がありますか？

1. なし 2. あり

[糖尿病対策の将来構想について]

(21) 今後の糖尿病対策として現状を踏まえて、どのような事業を考えて
いますか？(複数回答可)

1. 登録システムの導入
2. 事後指導体制の強化
3. 患者組織・自助グループの組織づくり
4. 糖尿病療養指導士などスタッフの増員
5. 医療機関との連携を深める
6. 職域(産業保健分野)との連携を深める
7. 学校保健分野との連携を深める
8. 福祉分野との連携を深める
9. 合併症患者(失明・腎透析・壊疽)への福祉対策
10. その他()

大変お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

ご回答頂きました方々には、報告書の速報をお送りします。

1999年2月吉日

保健予防担当 保健婦(士)殿

地域における糖尿病対策に関する調査協力の御礼

拝 啓

余寒の候、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度は、厚生省科学研究による「地域における糖尿病対策の新たな保健・医療・福祉システム構築に関する調査研究事業」にご協力下さり、誠にありがとうございました。

お蔭様で多数のご協力を頂き回収率は7割を越えました。速報を以下のとおりまとめる事が出来ましたので、此処にお届け致します。不十分な点多々あるかとは存じますが、よろしくご照覧の程お願い申し上げます。

今後とも、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

厚生省調査研究班 班長：岸本拓治
鳥取大学医学部衛生学教室
Fax : 0859-34-8138
Tel : 0859-34-8024

地域における糖尿病対策に関する調査の概要

1. 調査目的

近年、超高齢化社会を迎えようとしている我が国において、生活習慣病のうち糖尿病の増加が大きな問題となっています。今回の調査は、全国の市町村において行政機関、医療機関、患者組織などがどのような連携システムの中で糖尿病対策を実施しているのか現状を把握し、新たな保健・医療・福祉システムの構築方法について検討することを目的としています。

2. 調査対象

全国3382ヶ所の市町村を対象としています。

3. 調査期間

平成10年11月1日～平成11年1月17日

4. 調査項目

市町村の特性、糖尿病の実態と原因、糖尿病の管理体制(スクリーニング体制・患者登録システム・フォローアップ体制)、糖尿病の予防と啓発に関する体制、糖尿病対策に関わる人材の充足状況、諸機関との連携、職域・学校保健との連携、糖尿病対策の将来構想など21の質問項目について調査しました。

5. 調査方法

質問票調査を郵送法により実施しました。

6. 回収結果

地域ブロック別、人口規模別、産業構成比別の回収状況は以下のとおりでした。

(1) 地域ブロック別の回収状況

ブロック	送付数	回収数	回収率
北海道	221	162	73.3%
東北	405	289	71.4%
関東	507	353	69.6%
北陸甲信越	407	281	69.0%
東海	346	265	76.6%
近畿	370	249	67.3%
中国	326	228	69.9%
四国	216	154	71.3%
九州	584	398	68.2%
全体	3382	2379	70.3%

(2) 人口規模別の回収状況

人口規模	送付数	回答数	回収率
-5000未満	665	454	68.3%
5000-10000	859	621	72.3%
10000-50000	1261	909	72.1%
50000-100000	257	182	70.8%
100000-	340	213	62.6%
全体	3382	2379	70.3%

(3) 産業構成比別の回収状況

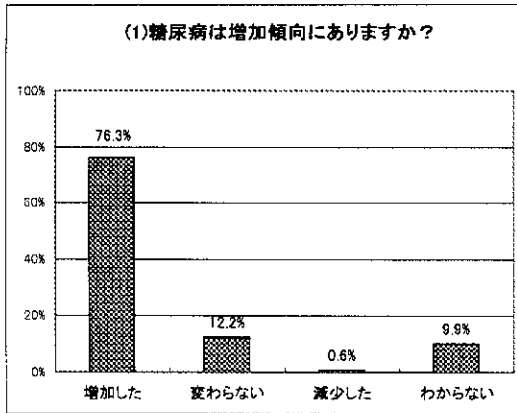
第一次産業構成比	送付数	回答数	回収率
-5.4%未満	676	447	66.1%
5.4-12.7	671	486	72.4%
12.7-20.5	675	471	69.8%
20.5-30.4	677	500	73.9%
30.4-	683	475	69.5%
全体	3382	2379	70.3%

調査結果(全体)

[糖尿病の実態と原因について]

(1)近年、貴市町村において糖尿病は増加したと思われますか？

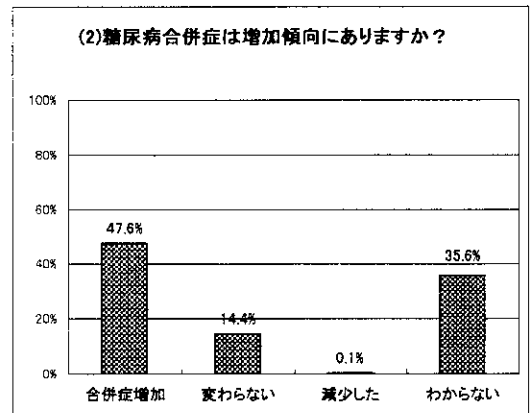
増加した	変わらない	減少した	わからない
76.3%	12.2%	0.6%	9.9%



1. 糖尿病が増加したという回答が76.3%と最も高かった。
2. 変わらないという回答は12.2%であった。
3. 分からないという回答は9.9%であった。

(2)近年、糖尿病の合併症は増加したと思われますか？

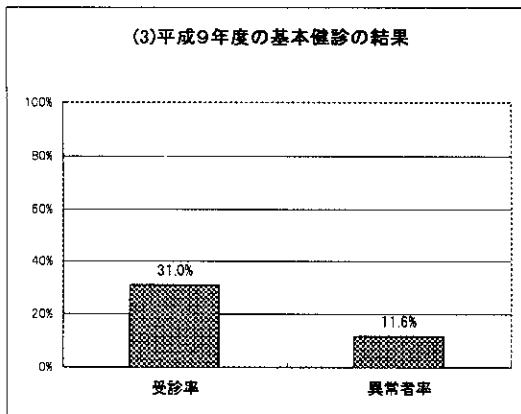
合併症増加	変わらない	減少した	わからない
47.6%	14.4%	0.1%	35.6%



1. ほぼ半数(47.6%)が合併症が増加したと回答している。
 2. 一方、変わらないという回答が14.4%であった。
 3. 分からないという回答は35.6%であった。
- この回答の背景として、医療機関との連携が不十分であると思われる

(3)平成9年度の老人保健法による基本健診の結果についてご記入下さい。

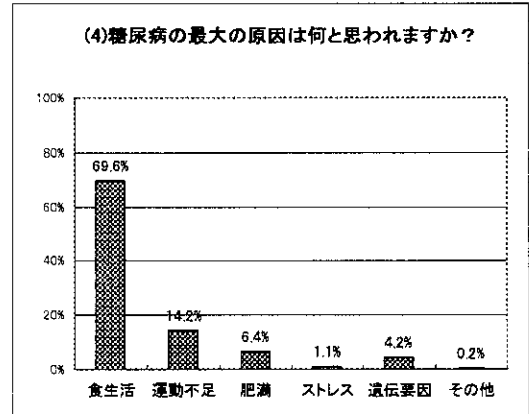
受診率	異常者率
31.0%	11.6%



1. 基本健診への平均受診率は31.0%であった。
2. 人口構造などの違いを検討する必要があるが、全体の異常者率は11.6%であった。

(4)貴市町村における糖尿病の最大の原因は何と思われますか？

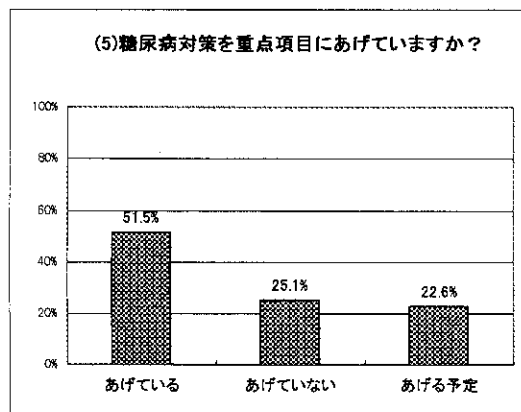
食生活	運動不足	肥満	ストレス	遺伝要因
69.6%	14.2%	6.4%	1.1%	4.2%



1. 市町村の保健婦による回答では、食生活を第一の原因と考えてい69.6%と最も高率を示した。
2. 続いて運動不足(14.2%)、肥満(6.4%)で、遺伝要因については4:

(5)糖尿病対策を保健活動の重点項目にあげていますか？

あげている	あげていない	あげる予定
51.5%	25.1%	22.6%



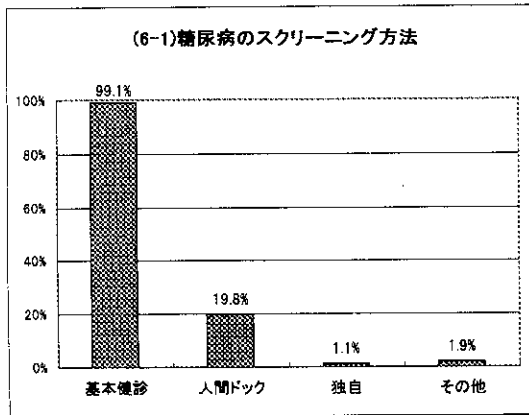
1. 約半数の市町村で糖尿病対策を保健活動の重点項目としてあげている。
2. また今後、重点項目にあげる予定の市町村が22.6%みられた。
3. 74.1%の市町村において現在あるいは将来、糖尿病対策を重点項目としている。

[糖尿病の管理体制について]

スクリーニング体制について

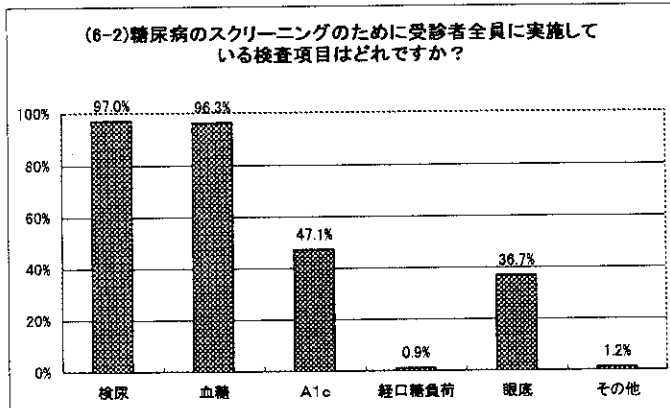
(6-1) 糖尿病のスクリーニングをどういう方法で実施していますか？

基本健診	人間ドック	独自	その他
99.1%	19.8%	1.1%	1.9%



(6-2) 糖尿病のスクリーニングのために受診者全員に実施している検査項目はどれですか？(複数)

検尿	血糖	A1c	経口糖負荷	眼底	その他
97.0%	96.3%	47.1%	0.9%	36.7%	1.2%



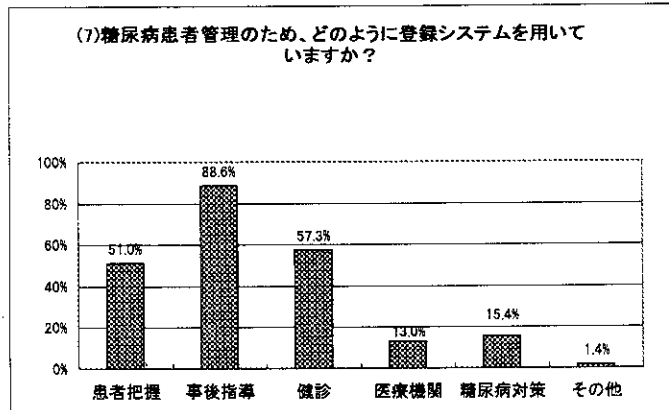
1. 糖尿病のスクリーニング方法は基本健診によるものが最も多く99.1%であった。
 2. 人間ドックによるものは19.8%であった。
- 二つの方法を重複してスクリーニングしているようである。

1. 検尿が97.0%、血糖検査が96.3%でほぼ100%あった。
2. 続いてヘモグロビンA1C(47.1%)、眼底(36.7%)であった。
3. 全員を対象とした経口糖負荷試験は0.9%みられた。

患者登録システムについて

(7) 糖尿病患者管理のため、どのように登録システム(台帳管理・電算管理等)を用いていますか？(複数回答可)

患者把握	事後指導	健診	医療機関	糖尿病対策	その他
51.0%	88.6%	57.3%	13.0%	15.4%	1.4%



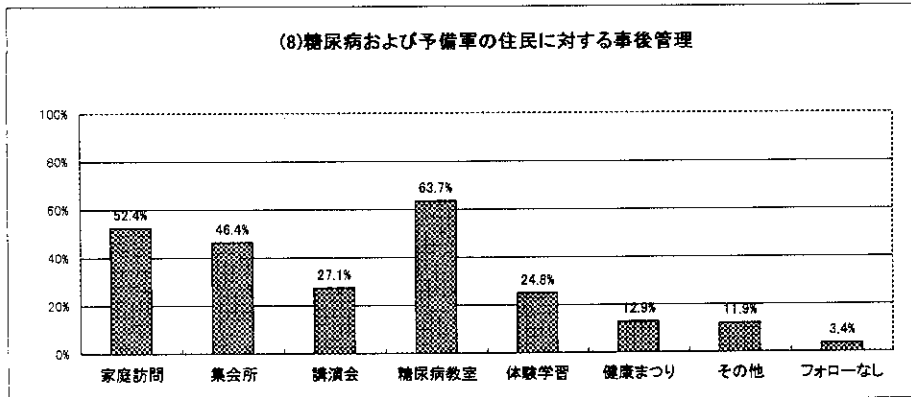
システムなし	73.4%
システムあり	26.3%
無回答	0.3%

1. 糖尿病管理システムが26.3%の市町村において存在した。
2. 最も活用される方法としては、「事後指導のために活用」であった。
3. その他、高率を示したものと「健診の継続管理のために活用」(57.3%)、「患者を把握するために活用」(51.0%)であった。
4. 「糖尿病対策評価のために活用」(15.4%)、「医療機関との連携のために活用」(13.0%)などは低率を示した。

フォローアップ体制について

(8) 糖尿病および糖尿病境界型(予備軍)の住民に対する事後管理のために、どのようなことをしていますか？(複数回答可)

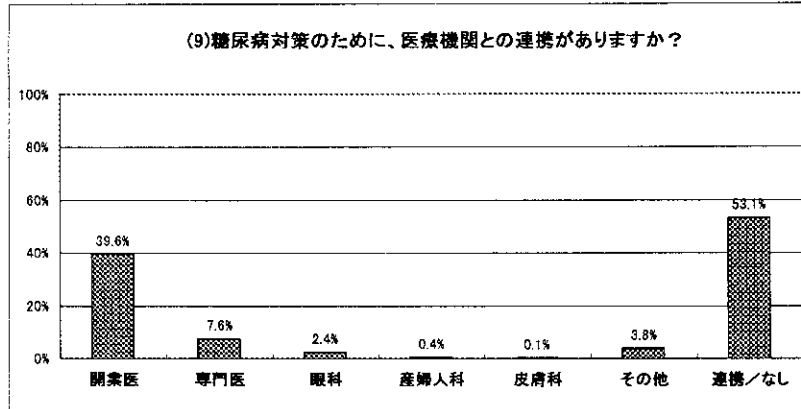
家庭訪問	集会所	講演会	糖尿病教室	体験学習	健康まつり	その他	フォローなし
52.4%	46.4%	27.1%	63.7%	24.8%	12.9%	11.9%	3.4%



1. 糖尿病の事後管理として最も高率を示したものは「糖尿病教室による個別・集団指導」(63.7%)であった。
2. 続いて「家庭訪問指導」(52.4%)、「集会所等での個別指導」(46.4%)、「講演会等による個別・集団指導」(27.1%)などであった。
3. フォロー体制のない市町村は3.4%みられた。

(9)糖尿病対策のために、医療機関との連携がありますか？(複数回答可)

開業医	専門医	眼科	産婦人科	皮膚科	その他	連携/なし
39.6%	7.6%	2.4%	0.4%	0.1%	3.8%	53.1%

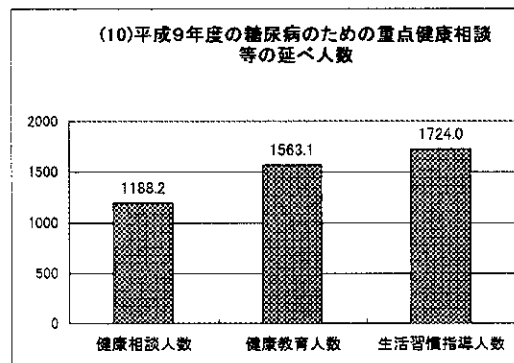
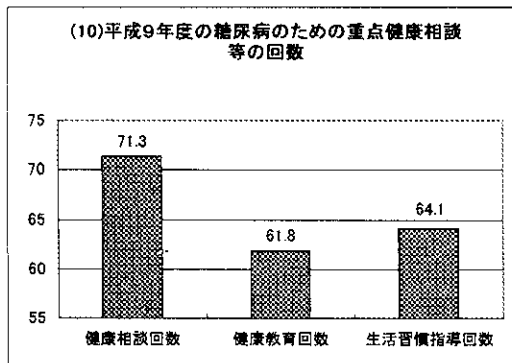


- 半数以上(53.1%)の市町村において医療機関との連携が見られなかった。
- 連携する医療機関としては、開業医が最も多く39.6%に見られた。
- 糖尿病専門医(7.6%)、眼科(2.4%)等は低率を示した。

(10)昨年度(平成9年度)に糖尿病のための重点健康相談・重点健康教育等の回数、また人数をお答え下さい(人口10万対の回数および延べ人数)。

健康相談回数	健康教育回数	生活習慣指導回数
71.3	61.8	64.1

健康相談人数	健康教育人数	生活習慣指導人数
1188.2	1563.1	1724



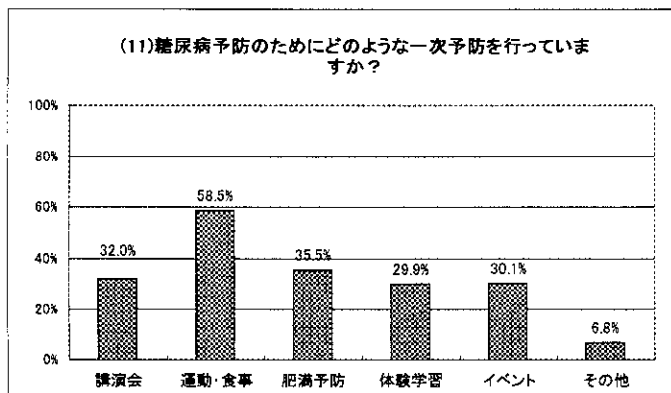
- 糖尿病のための重点相談・教育・指導回数は人口10万人当りに換算すると、年間平均して62~71回実施されている計算となった。
- 健康相談回数が最も多く71.3回、ついで生活習慣改善指導が64.1回、健康教育回数が61.8回の順となった。

- 糖尿病のための重点相談・教育・指導延べ人数は人口10万人当りに換算すると、年間平均して1,200~1,700人を対象に実施されている計算となった。
- 生活習慣改善指導人数が最も多く1,724人、ついで健康教育人数が1,563人、健康相談人数が1,188人の順となった。

【糖尿病の予防と啓発に関する体制について】

(11)糖尿病予防のために、どのような一次予防を行っていますか？(複数回答可)

講演会	運動・食事	肥満予防	体験学習	イベント	その他
32.0%	58.5%	35.5%	29.9%	30.1%	6.8%

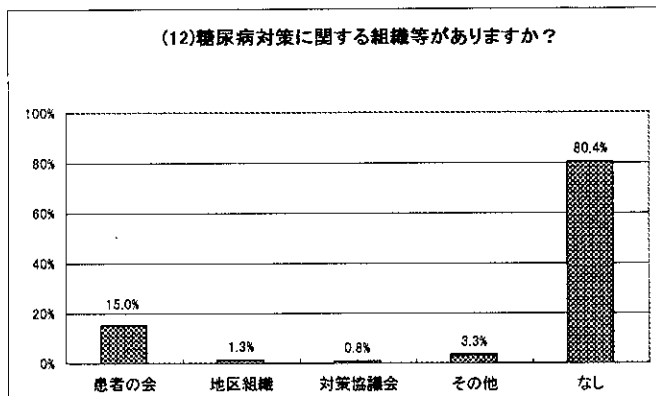


一次予防なし	14.6%
一次予防あり	84.2%
無回答	1.2%

- 一次予防を実施している市町村は84.2%みられた。
- その内容としては「運動・食事に関する学習会(教室)」(58.5%)が最も高率を示した。
- 他の内容についてはほぼ3割前後の率を示した。

(12)糖尿病対策に関する患者の会・自助グループ・地区組織等がありますか？(複数回答可)

患者の会	地区組織	対策協議会	その他	なし
15.0%	1.3%	0.8%	3.3%	80.4%

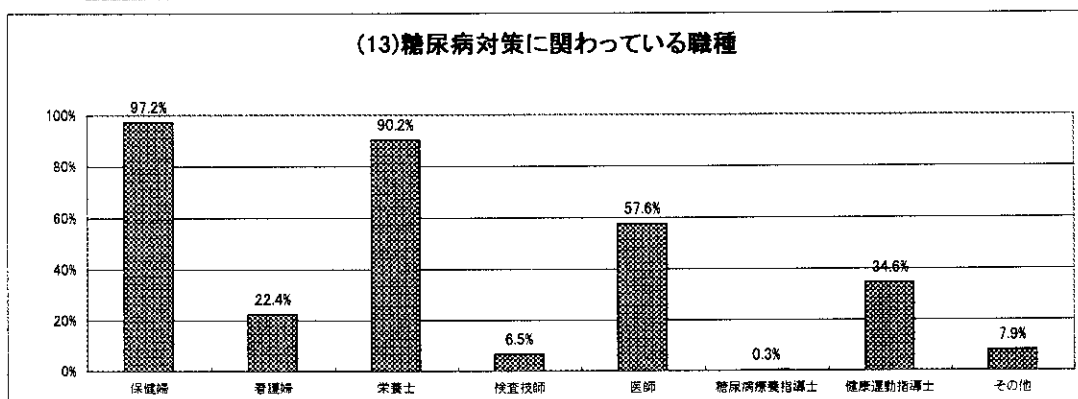


- 80.4%の市町村が糖尿病対策に関する組織がないと答えている。
- 各種の組織のうち、患者の会・自助グループが15.0%の市町村にみられた。
- 「糖尿病対策に関する地区組織」(1.3%)、「糖尿病対策協議会のような糖尿病対策を中心とした組織」(0.8%)等は、低率を

[糖尿病対策に関わる人材の充足状況について]

(13)糖尿病対策に関わっている職種(嘱託・雇い上げも含む)を以下の中から選んで下さい。(複数回答可)

保健婦	看護婦	栄養士	検査技師	医師	糖尿病療養指導士	健康運動指導士	その他
97.2%	22.4%	90.2%	6.5%	57.6%	0.3%	34.6%	7.9%

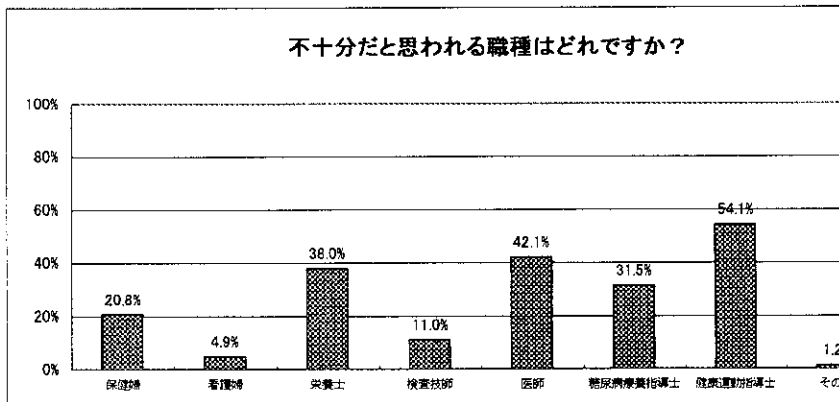
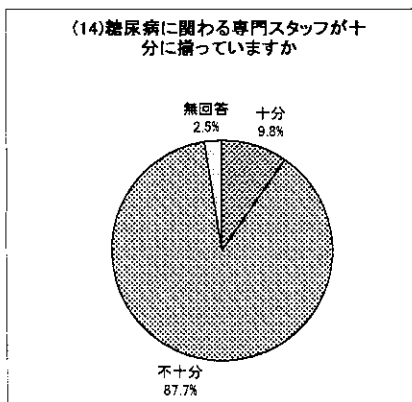


- 高率を示した職種としては保健婦(97.2%)、栄養士(90.2%)等であった。
- 医師については57.6%を示した。
- 健康運動指導士が34.6%を示した。
- 看護婦(22.4%)、検査技師(6.5%)、糖尿病療養指導士(0.3%)等は低率を示した。

(14)糖尿病に関わる専門スタッフが十分に揃っていますか？また不十分とお答えした方、その職種はどれですか？

十分	不十分	無回答
9.8%	87.7%	2.5%

保健婦	看護婦	栄養士	検査技師	医師	糖尿病療養指導士	健康運動指導士
20.8%	4.9%	38.0%	11.0%	42.1%	31.5%	54.1%

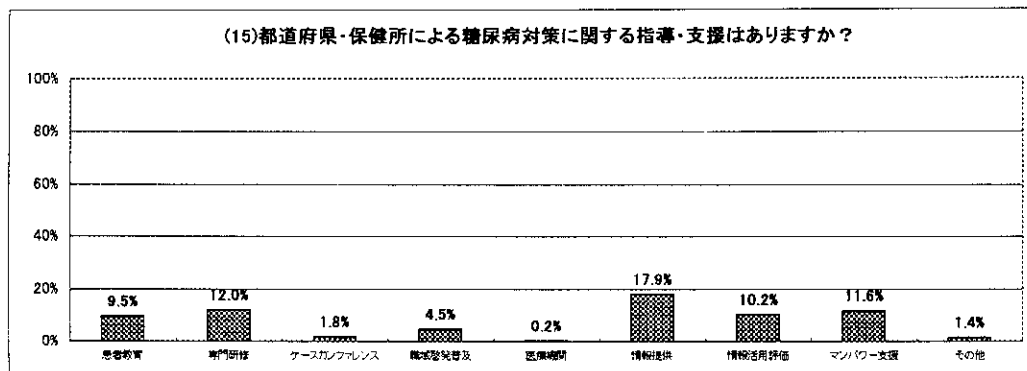


- 87.7%の市町村が専門スタッフが不十分と答えている。
- 専門スタッフが十分に揃っていると答えた市町村は9.8%に過ぎなかった。
- 不十分だと思われる職種としては、健康運動指導士(54.1%)、医師(42.1%)、栄養士(38.0%)等が高
- また糖尿病療養指導士(31.5%)、保健婦(20.8%)等もやや高率を示した。

[諸機関との連携について]

(15)都道府県・保健所による糖尿病対策に関する指導・支援はありますか？

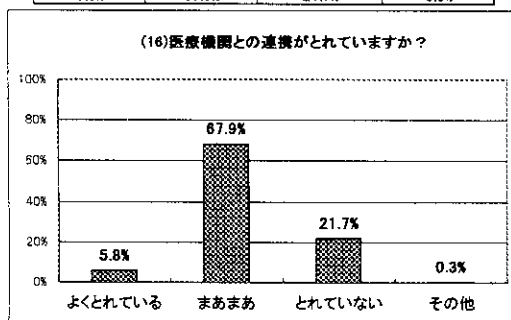
患者教育	専門研修	ケースカンファレンス	職域啓発普及	医療機関	情報提供	情報活用評価	マンパワー支援	その他
9.5%	12.0%	1.8%	4.5%	0.2%	17.9%	10.2%	11.6%	1.4%



- ほとんどの市町村において、都道府県・保健所による指導・支援があるという回答は、すべての項目に関して20%以下の低率を示した。
- 低率ながら、情報提供についてが17.9%と最も多く、ついで専門スタッフの研修が12.0%、マンパワー支援が11.6%、情報活用評価についてが10.2%と注目すべき値を示した。
- 患者教育をはじめとするその他の項目については10%以下の低率を示した。

(16)あなたの市町村では、医療機関との連携がとれていますか？

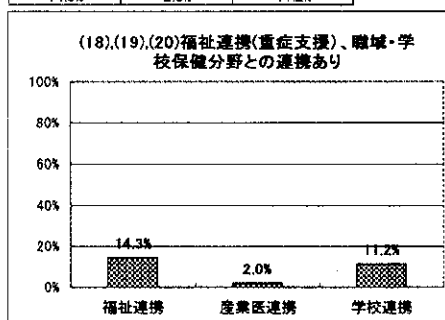
よくとれている	まあまあ	とれていない	その他
5.8%	67.9%	21.7%	0.3%



- まあまあとれていると答えた市町村は67.9%であった。
- よくとれていると答えた市町村は5.8%と低率を示した。
- とれていないと答えた市町村は21.7%であった。

(18)、(19)、(20)福祉連携(重症支援)、職域の産業医・保健婦、学校保健分野との連携がありますか？

福祉連携	産業医連携	学校連携
14.3%	2.0%	11.2%

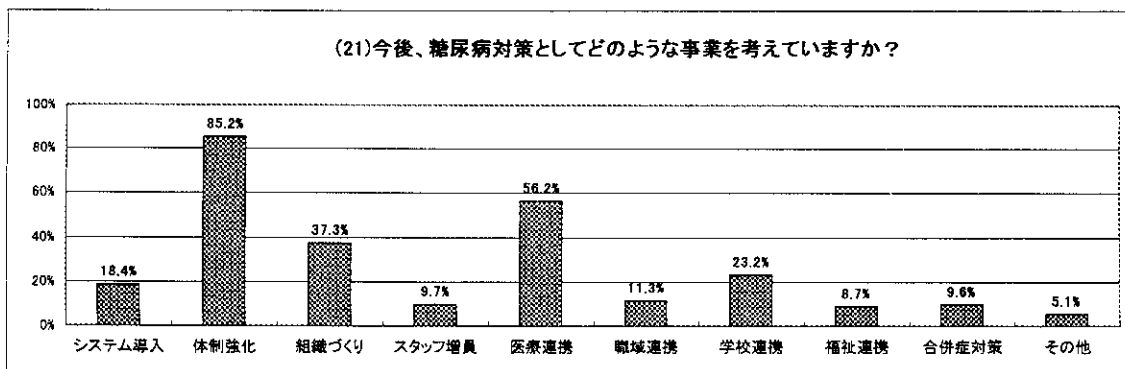


- 重症支援ありと答えた市町村は14.3%であった。
- 産業医・産業保健婦との連携は2.0%と低率を示した。
- 学校医との連携は11.2%であった。

[糖尿病対策の将来構想について]

(21)今後の糖尿病対策として現状を踏まえて、どのような事業を考えていますか？(複数回答可)

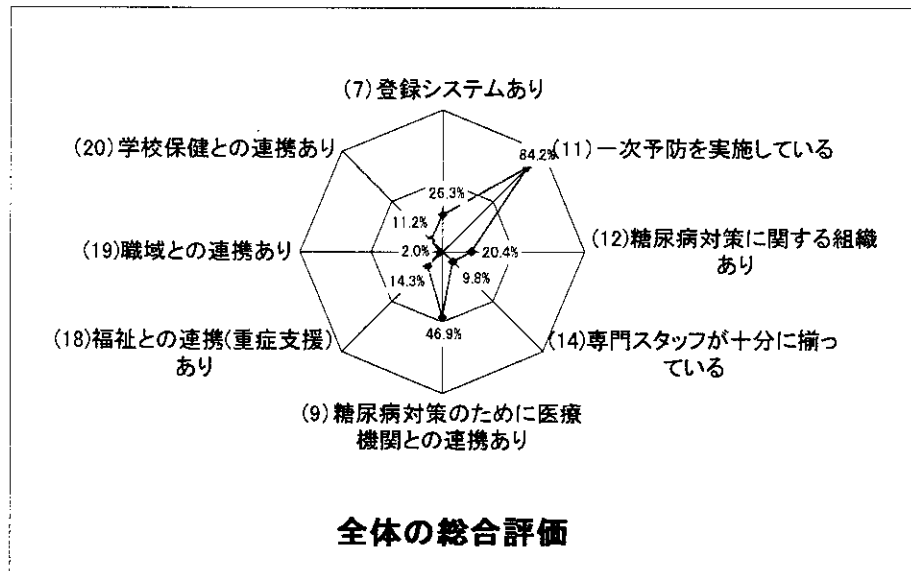
システム導入	体制強化	組織づくり	スタッフ増員	医療連携	職域連携	学校連携	福祉連携	合併症対策	その他
18.4%	85.2%	37.3%	9.7%	56.2%	11.3%	23.2%	8.7%	9.6%	5.1%



- 今後の糖尿病対策として、体制強化と答えた市町村が85.2%と最も高率を示した。
- 次に医療機関との連携で56.2%、組織づくり37.3%、学校保健分野との連携23.2%、システム導入18.4%であった。
- その他(5.1%)の回答として最も多かったのは、一次予防対策であった。

全体の総合評価

(7)登録システムあり	(11)一次予防を実施している	(12)糖尿病対策に関する組織あり	(14)専門スタッフが十分に揃っている	(9)糖尿病対策のために医療機関との連携あり	(18)福祉との連携(重症支援)あり	(19)職域との連携あり	(20)学校保健との連携あり
26.3%	84.2%	20.4%	9.8%	46.9%	14.3%	2.0%	11.2%



何らかの形で一次予防を実施している市町村は84.1%と最も高率を示した。
 しかし、糖尿病対策について医療機関との連携がある市町村は46.9%に過ぎなかった。
 また、その他の項目についても非常に低率を示し専門スタッフ面、登録システム、他の分野との連携等、
 充実すべき課題が、山積しているように思われる。